

## 氷川前遺跡 第67地点

遺跡名	氷川前遺跡
よみがな	ひかわまえいせき
調査地点	第67地点
主な時代	弥生時代後期末、平安時代
調査地	富士見市水子 1328-1、1328-2、1328-3、1328-9
調査面積	1,152 m <sup>2</sup>
調査期間	平成28年6月10日～14日
調査内容	<p><b>【確認された主な遺構】</b> 弥生時代後期の竪穴住居跡1軒 平安時代の竪穴住居跡2軒 溝跡1条</p> <p><b>【出土した主な遺物】</b> 弥生時代後期壺、甕 平安時代の土師器甕</p> <p><b>【概要】</b> 氷川前遺跡は、富士見江川により区画された水子支台に立地する旧石器時代～近世にわたって多くの遺構・遺物が確認されている大規模な遺跡です。第67地点は遺跡西端部の緩斜面地にあたり、調査の結果、弥生時代後期住居跡1軒・平安時代住居跡2軒が確認されました。平安時代住居跡については、床面がかろうじて確認できるのみでした。弥生時代後期住居跡については、斜面地のため台地側部分ではかろうじて壁が残っていましたが、谷側部分では住居の壁は確認できない状態でした。</p>



斜面地に確認された弥生時代住居跡



住居跡から出土した弥生時代土器